SEiNAN Spirit

No. 220
西南学院大学
2022 Spring

春から始める!

「いつかやろう」を〝今〟やろう!
自分アップデート







MY ANSWER

「ファッション」には、どのような意味がありますか?

私の留学STORY 世界がメッシバス

イタリア:
シエナ
外国人大学

就活サプリ

気になる就活のアレコレ!
内定者が本音で
答えます!

西南学院大生、熱中の日々 今、私は、

剣道部

「SEINAN Spirit」はスマホでも読めます!

SEiNAN Spirit No.220 2022 Spring
2022年3月11日発行(季刊誌) 編集/西南学院 総合企画部 広報・校友課 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92 ☎092-823-3248
発行/西南学院大学

西南学院大学公式SNS

皆さまからの「いいね!」をお待ちしております!

Facebook

西南学院大学のニュースやお知らせ、イベント情報などを随時発信しています。ぜひフォローしてください。

Twitter

西南学院大学のニュースやお知らせ、イベント情報などを随時発信しています。ぜひフォローしてください。

YouTube

西南学院大学のイベントや入試制度説明などの動画を配信しています。ぜひチャンネル登録してください。

西南学院Letterにご登録ください!

メルマガ「西南学院Letter」は、西南学院のNEWSやイベント情報などをおよそ月2回の頻度でお届けいたします。

ぜひご登録ください!

新体育館・プール棟(仮称)建設へのご支援について(お願い)

本学は、老朽化した建物の建替えおよび機能向上を目的として、現在の大学西新グラウンド(西キャンパス)に新体育館・プール棟(仮称)を建設いたします(2023年6月竣工予定)。

『西南学院大学サポーターズ募金』のうち、新体育館・プール棟(仮称)建設支援を指定してご寄付いただいた場合、当該寄付を新体育館・プール棟(仮称)建設の原資とさせていただきます。個人5万円以上、団体10万円以上、法人50万円以上のご寄付をいただいた方は新体育館1階の銘板にご芳名を刻銘し、末永く顕彰いたします。

厳しい経済環境の折、大変恐縮ではございますが、皆さまからのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新体育館(仮称)外観

体育館屋上に太陽光パネルを設置し、環境負荷低減および省エネルギー化を図り、環境にも配慮した施設となる予定です。また、災害時用マンホールトイレや防寒具・非常食の備蓄倉庫を設置し、災害時には非常用発電による電力供給設備を整えた一時的避難施設としても活用される予定です。



メインアリーナ

メイン・サブアリーナ上部に自然換気窓を設け、アリーナ面の重力差換気を図ることで、快適なスポーツ環境を実現します。



※本パースはイメージであり、今後変更となる場合があります。

西南学院大学サポーターズ募金については、ホームページをご覧ください。

https://www.seinan-gakuin.jp/supporters/ 西南学院大学 募金

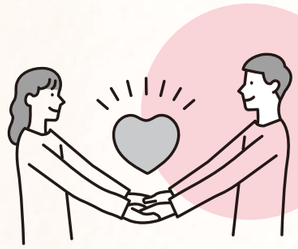
【寄付に関するお問い合わせ先】 総合企画部 広報・校友課 | TEL:092-823-3248 E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学

inspiring you
心と知を紡ぎ、世界へ







「いつかやろう」を“今”やろう！

デアップ 自分

春から始める！







4月から新年度がスタートします。

「今年は新しいことにチャレンジしよう」と、

目標を立てている人も多いのではないでしょうか？

しかし、日々のことに追われているうちに、

「やる気が薄れてしまった」という声を聞くことも…。

そこで、今号のSpiritでは、

「新しいことを始めたい」「今年こそは頑張りたい」という皆さんのやる気を応援！

「いつかやろう」を「今から始めよう！」に切り替えて、

“なりたい自分”に近づきましょう。

「目標がない」「やりたいことがない」という人も、

この特集を通してやりたいことがきっと見つけられます！









SEINAN Spirit

No.220

2022 Spring

CONTENTS

02
［特集］「いつかやろう」を“今”やろう！ 春から始める！ 自分アップデート

09
西南学院大生、熱中の日々 今、私は。
神学部神学科 3年 池口 庫之亮さん

11
MY ANSWER
人間科学部心理学科 柳澤 さおり 教授 × 国際文化学部国際文化学科 大原関 一浩 准教授

13
就活サプリ
気になる就活のアレコレ！内定者が本音で答えます！

15
私の留学~STORY~ 世界がキャンパス
国際文化学部国際文化学科 4年 緒方 貴士さん

16
Before⇒After 一歩前へ。
法学部国際関係法学科 4年 房村 佑希与さん

17
知の原点
商学部商学科 髙山 浩二准教授

18
こんにちは先輩
筑前琵琶奏者 筑前琵琶 嶺青流 師範/嘉の会 主宰 尾方 蝶嘉さん

20
NEWS & TOPICS
教授のヨノナカ考 外国語学部外国語学科 石田 由希 准教授

23
INFORMATION

25
決断 ターニングポイント！
西日本電信電話株式会社（NTT西日本）財務法務部 法務部門 秋山 貴紀さん

雲の柱 火の柱

#117

「若き日の経験は一生の宝」

入学前には長く思えた大学の4年間も、いざ始まると時間の経つのが早く感じられた、という人は少なくないでしょう。その中で、自分がどれだけ将来の役に立つ知識や技術を習得できているのか実感をもてない、という人もいると思います。

しかし、若い時の経験は、たとえそれが近い将来の仕事には直接繋がらなくても、長い目で見ると人生を豊かなものにする宝である、ということを覚えておいて下さい。私は合唱やピアノ、そしてオーケストラと、子供の頃から音楽に親しんできましたが、それはあくまで趣味でした。それがふとしたことから、大学のハンドベルクワイアの指導を任されることになったのです。ハンドベルのことは一から勉強するしかありませんでしたが、それまで親しんできた音楽の経験がとても役立つことを知ることになりました。中でも役に立ったのは、オーケストラの最後列でティンパニーを叩きながら、指揮者がどのように音楽を纏めあげていくのかを見ていた経験でした。

クワイアの学生の多くはハンドベルの初心者ですが、若い人達の成長は著しいものがあります。そんな学生たちが、専門家でもない私と共に音楽を作ってくれていることにとても感謝しています。

院長 今井尚生

デアゴスト自分

Step 1 ▶▶▶ 「Be」の目標を立てる

まずは自分探しから!

“なりたい自分”を考えよう。



具体的な目標や計画を立てる前に、まずは自分自身について振り返り、
「どんな自分になりたいか」「どんな自分でありたいか」を想像し、
「Be」の目標を立てましょう。

「Be」の目標を立てるポイント

下記のポイントを参考に、「Be」の目標をたくさん書き出してみましょう。
「私には無理そう…」と気持ちにフタをせず、前向きに考えましょう。

1. 子どもの頃、好きだったことや夢中になったことは何ですか?
2. 「こんな自分は好きだな」と思える瞬間はどんな時ですか?
3. 達成感ややりがいを感じるのは、どんな時ですか?
4. 大学に入学した頃に思い描いていた自分は、どんな自分でしたか?
5. 友人や家族に言われたことがある「自分の良いところ」や人よりも「得意なこと」は何ですか?
6. 今、興味や関心のあることは何ですか?



“なりたい自分”は、キャンパスで目指そう!

誰かの役に立ちたい! 社会に貢献したい!



Let's try!

●ボランティア ●SA・TA ●資格試験 など

自分のアイディアを地域や社会で生かしたい!



Let's try!

●産官学連携講座 ●ゼミ ●インターンシップ など

国内外で仕事がしたい!

例えば、卒業後



Let's try!

●留学 ●国際交流イベント ●英語検定講座 など

4年間の学修成果を残したい!



Let's try!

●留学 ●卒業論文 ●資格試験 など

周りから信頼される人になりたい!



Let's try!

●ボランティア ●アルバイト ●クラブ・サークル など

自分の意見を伝えられる人、行動力のある人になりたい!

例えば、4年間で



Let's try!

●教育支援プログラム ●クラブ・サークル ●ゼミ ●授業での発表など

デアゴスト自分

Step 2 ▶▶▶ 「Do」の目標を立てる

“なりたい自分”になるために、

目標と行動計画を立てよう。



“なりたい自分”が決まったら、下の〈目標達成計画シート〉を使って、
具体的な行動目標＝「Do」の目標を立てましょう。
さらに、目標を達成するためにすべきこと＝「行動計画」も立てましょう。

「Do」の目標を立てるポイント

「Be」の目標から逆算して、どんな行動が必要かを考えてみましょう。
また、「○○だからできない」とできない理由を考えるのはやめましょう。

1. 小さな目標でも、大きな目標でもまずは言葉にしてみましょう。
2. 大学の制度や施設を利用して挑戦できることを探してみましょう。
3. 今、自分が属するコミュニティ以外でもできることはないか探してみましょう。
4. 「○○はこうすべき」と縛られず、広く、自由に考えましょう。

目標達成計画シート［Doの目標］

〈なりたい自分〉

Step1で見つけた「Be」の目標の中から一番なりたいものを1つ選びましょう。

なりたい自分になるために、何をすれば良い?

目標①［数字・結果］	目標②［気持ち・行動の心構え］	目標③［周囲への貢献］

「なりたい自分」になるために、“クリアすべきこと”や“成長すべきこと”を目標に立てましょう。

数字や成果など、達成できたかが客観的に判断できる「目に見える目標」を書きましょう。
例:「派遣留学生に選ばれる」、「キャプテンとしてチームを優勝させる」

“気持ちの面で成長したいこと”や“目標達成のための心構え”など、「目に見えない目標」を書きましょう。
例:「英語で話すことを恥ずかしがらない」、「自分に自信を持つ」

“他者にどのように貢献したいか”や“周囲をどのように良くしたいか”など、「他者・周囲に対する目標」を書きましょう。
例:「留学生の日本愛を深める」、「チームのやる気を引き出す」

目標達成のために必要なことは? どんな力が必要?

取り組むべきこと①	取り組むべきこと②	取り組むべきこと③

目標①〜③を達成するために、“実際に行動すべきこと”や“身に付けた方が良い力”を書きましょう。
例:「英語の会話力を高める」、「前向きな発言をする」

取り組むべきこと①〜③について、“いつまでに、何をするか”を書きましょう。
例:「4月から毎日、英単語を暗記する」、「練習の時、必ず全員に声をかける」

いつまでに(いつ)何をどうやって実行する?

具体的に実行すること①	具体的に実行すること②	具体的に実行すること③



目標達成のためのポイント

○目標達成計画シートを「部屋の壁に貼る」「スマホに撮って待ち受けにする」など、常に目に付くようにしましょう。
○途中で目標が変わってもOK! まずは、立てた計画を実行してみましょう。
○目標や計画が失敗しても自分を責めないようにしましょう。真剣にやったことであれば、必ず得るものがあります。

ステップアップ自分 実践編

学生3名が「Be」の目標と「Do」の目標を考えてみました！



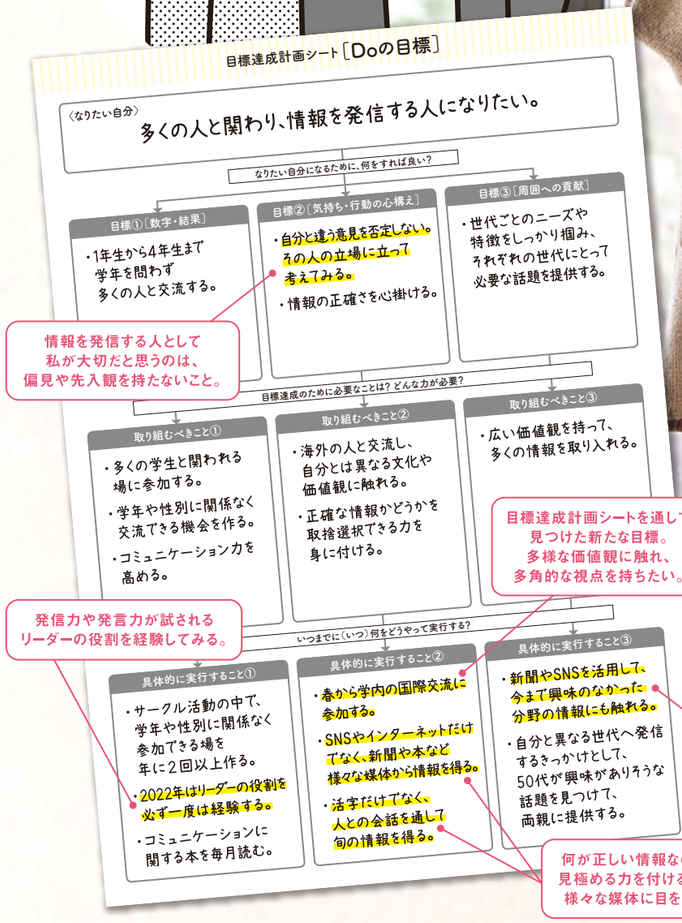
尾畑 舞（おばた まい）さん

法学部法律学科 2年
（早鞆高等学校出身）

多くの人と関わり、情報を発信する人になりたい！

私がこの目標を選んだ理由

大学の広報ボランティアの活動を通して、情報を発信することに興味を持ち、「自ら情報をキャッチして誰かに届ける人になりたい」と思いました。



やってみた感想

自分の長所や興味のあることを再確認することができました。大学生活を充実させたい人は、目標達成計画シートを試してみて！

国際交流について知りたい！

国際センター（3号館1階）へ。SNSでも留学やイベントなどの情報を発信しています。

“なりたい自分”に成長できる場はすぐ側に。

元々、様々な人と交流し、多様な考えや価値観に触れたいという思いがありました。そんな時、大学の広報誌制作などに携わる広報ボランティアに参加。情報をキャッチして、多くの人に発信する仕事に興味を持ち、私自身も何かを発信する人になりたいと思うようになりました。

今回、目標達成計画シートで自分自身を見つめ直したことで、“なりたい自分”に成長できる場は身近にたくさんあることに気付きました。例えば、サークル活動は私の考えた企画を発信できる場です。また、キャンパスの国際交流を活用すれば、「誰かに教えたい」と思うような他国の文化や歴史を知ることができます。身に付けるべき知識やスキルは多々ありますが、キャンパスでたくさん成長できることに気付けたのは自分を客観的に見つめたからこそ。これからの学生生活がより充実したものになりそうです。

やるべきことを言葉にしたことで、練習のモチベーションがアップ！

高校3年生の時、新型コロナウィルス感染症の影響でインターハイが中止になり、自分の実力を試すことができませんでした。その悔しさを晴らすため、「Be」の目標は、迷わず「九州地区1位」「全国大会で活躍」としました。

とはいえ、大学は選手のレベルが格段に高くなるため、これまで以上に練習の量と質を上げていかなければなりません。自分の弱点を克服するためにどのような練習をすべきか。頭の中では理解していたつもりですが、目標達成計画シートに書き込むことで、「1日1日の練習を無駄にしない」という気持ちがより強くなりました。特に、メンタル面の強化は意識しないと忘れがちです。今回、言葉にしたことでメンタルを常に良い状態に整えることを意識できるようになりました。今はこのシートをスマホに保存し、定期的に見直すことでモチベーション維持に役立てています。



私がこの目標を選んだ理由

高校時代から続けている陸上短距離走でどこまで勝負できるか、自分を試してみたいと思い、自分にとって大きな挑戦となる目標を立てました。

陸上200m走で九州地区1位、全国大会で活躍できる選手になりたい！



中尾 和真（なかお かずま）さん

経済学部経済学科 1年
（小郡高等学校出身）

やってみた感想

自分の言葉で書くことで目標への意欲が高まります！　次はこのシートを使って勉強面の目標を立てるつもりです。

サークル・部活動について知りたい！

学生課（2号館3階）で相談を受け付けています。



服部（はっとり） 美咲（みさき）さん
国際文化学部国際文化学科 3年
（福岡西陵高等学校出身）

自分の言葉で人の心を動かす人になりたい！

私がこの目標を選んだ理由

大学2年生の時に目にした広告のキャッチコピーが印象的だったことから、「言葉」を使う仕事に興味を持ち、就職活動の1つの軸として目標にしました。

“なりたい自分”を目指すことで就職活動も前向きに乗り切れる！

“なりたい自分”になるには、何かしなければ始まらないと思いつつ、ずっと行動できずにいました。就職活動が本格化する前に目標達成計画シートを書いたことで、ようやく自分にスイッチが入ったように思います。自分の言葉で人の心を動かすには、思いや考えを言葉にする力が必要。そして、その力を身に付けるために、「読む」「考える」「書く」を習慣にする。こうした自分への課題は、“なりたい自分”から考える分析だから見つけることができ、就職活動を前向きに進めていく力になりました。

また、今までは「自信がないから行動できない」と考えていましたが、実は「行動しないから自信が持てない」ということに目標達成計画シートを通して気付くことができました。自分に自信が持てなかった私にとって、この気付きは大きな力になりました。

やるべきことが分かった今、あとは行動あるのみ。成長する自分を楽しみながら、就職活動も頑張ります。

やってみた感想

「できる、できない」ではなく、「やる！」と前向きな気持ちになれました。“なりたい自分”がない人こそ、ぜひ試してみてほしいです。

就職・進路について知りたい！
就職課（2号館3階）へ。
公式LINEでも情報発信中です。

どんな学生時代を過ごした？

卒業生に聞いてみました！

在学当時は見過ごしていたけれど、卒業してから気付くことがたくさんあります。そこで、社会に出た今だからこそ感じることを卒業生に聞いてみました！

01 学生時代、やって良かったことは？

ボランティア（30代・女性）

飲食店でのアルバイト（40代・男性）
サービス業の基本を学んだことで
ホスピタリティの精神が身に付き、今に生きています。

短期留学と
たくさんの**海外旅行**（30代・女性）

サークル活動を通じて、
新たな自分を発見できた。（60代・男性）

02 学生時代、やらずに後悔していることは？

留学。
迷わず行けば良かった！（20代・女性）

もっと資格をとっておけば良かった！（50代・男性）

留学生との交流（30代・女性）
仕事で海外に対して日本や福岡をPRすることが多いのですが、日本・九州・福岡の文化や歴史について知らないことを社会人になって知りました。

学内と学外の活動（40代・男性）

より深い英語の勉強（30代・女性）

03 学生時代に戻ったら、どのような目標を持って過ごしたい？

ビジネスレベルまで語学力を高める！
（30代・女性）

とにかく何にでもチャレンジ！
（30代・女性）

将来、役に立つ人脈を作る
（40代・男性）

英語専攻だったので、長期留学
（30代・女性）

色々なことを経験する機会を、自分で多く作りたい（20代・女性）

04 新しいことにチャレンジする時、大事なことは何？

思い切りの良さ！（30代・女性）

目標を持って取り組むこと（20代・女性）
社会人になると、チャレンジしようと思っても、仕事でもプライベートでもしがらみが多くなります。

将来を見据えた強い成長意欲（40代・男性）

失敗を恐れない！（60代・男性）
学生のうちならやり直しがきくことが多い。トライ&エラーの精神を持ってチャレンジを！



後輩へメッセージをお願いします！

卒業後のことを考えることも大切ですが、**「今」を思いっきり楽しんでください！** 学生時代は二度と戻ってきません！（30代・女性）

学生時代に頑張っていたことが、今の仕事に役立っています。**今できることは、何でもチャレンジ**してみてください！（30代・女性）

1人でできること、誰かと一緒にできることを見つけて、一所懸命に取り組んでみてください。**思いがけないところで、役立つことがあります！**（50代・男性）

4年間を**なんとなく過ごすと後悔**します。苦労は買って出よう！自分と向き合う時間を持とう！（40代・男性）

4年間は、長いようで本当に短い！ **1年ごとに目標を決め、それに向かって挑戦**しよう！（60代・男性）

神学部神学科3年
池口 庫之亮（いけぐち くらのすけ）さん
（新宮高等学校出身）

父と兄の影響により小学生から剣道を始める。現在は創部100年を超える体育会剣道部で主将を務め、35名の部員と切磋琢磨しながら週6日の練習に励む。

100年の伝統を継承し、創部初の団体戦全国ベスト8を目指す。

高校と大学の差に愕然。体づくりから再出発。

「礼に始まり、礼に終わる」という言葉通り、小学生の頃から技を磨くと同時に、礼儀作法を重んじ鍛錬を積んできました。私の剣道人生の始まりは、幼少期に父と兄に連れられて行った道場です。自然な流れで私も剣道を習い始め、特に本学剣道部の先輩でもある兄の姿に憧れ、「自分も同じ場所で剣道がしたい」と、その一心で西南学院大学に入学しました。

大学入学後、まず大学剣道のレベルの高さに圧倒されました。そもそも、高校と大学では竹刀の重さも長さも異なり、その感覚の違いにまず慣れる必要がありました。さらに、私が1年生の時の先輩たちは、個人戦で全国ベスト8に入る選手がいるほどハイレベルな選手が多く、自分との実力の差は歴然。その先輩たちになんとか追いつき、レギュラーになりたいと必死に練習しました。部では週6日、毎日1時間半練習を行いますが、それに地元の道場での自主練習や、竹刀を振れる体になるための筋力トレーニングを追加。さらに、師範やコーチ、先輩たちから適宜アドバイスをもらいながら大学剣道に対応する体作りと技を磨いていきました。すると、その努力のかいあって1年生でレギュラーになり、全国大会にも出場できました！このことは、一生忘れられない思い出です。







練習の時の表情は真剣そのもの。「剣道はコンタクトスポーツ。コロナ禍に合った活動を日々模索しています」と池口さん

学生主体の運営に苦労するも仲間の存在が励みに。

3年次からは、剣道部の主将を務めています。監督の指示を待つ高校までの部活動とは違い、本学剣道部は練習メニューや部の方針なども学生主体で決めるのが基本です。私自身、中学校で主将、高校でも副主将を務めた経験がありましたが、大学では部員も多い上に責任も大きく、最初は戸惑いました。毎日男女合同で練習しているため、練習メニューの考案一つとっても、部員から様々な意見が出て、意見をまとめるのもひと苦労です。さらに、団体戦のチーム構成を考える際も、試合の戦略を前提に部員の特徴やコンディションなどを考慮しながら、監督と協議して選手を決めます。このような大きな責任とプレッシャーがありますが、副主将のバックアップをはじめ、部員たちの剣道に対する熱量に励まされながら主将を務めることができています。入部当初の私が先輩の姿に良い影響を受けたように、私自身も後輩の見本となれるよう今後の活動期間も気を抜かず、頑張っていきます。



剣道部初の快挙を達成し、最高のラストイヤーに！

今年は引退の年です。個人戦は5月、団体戦は9月に行われますが、ともに全国大会に出場し、団体戦に関しては創部初となるベスト8進出を目指しています。諸先輩方が築いてきた本学剣道部の歴史に新たな1ページを加えることができたならこれ以上うれしいことはありません。そして、長年にわたってずっと応援し続けてくれる60代、70代、それ以上の剣道部の大先輩方にも恩返しができたらと思います。

私が剣道人生16年で培った礼儀礼節、精神力は学生時代の宝です。また、所属する神学部で学んできた「他者を理解し、尊重する」という考え方も、剣道の経験と同じく社会に出ても生かせるはずです。部の歴史と伝統に恥じぬよう、残りの学生生活も文武両道で突き進んでいきます。

これからトライしたいこと



後悔のない選択のために すべてのことに手を抜かない。

いよいよ就職活動が本格化。将来のためにIT系の資格取得に向けコツコツと勉強しています。また、剣道部の歴代の先輩方のつながりで、興味のある業界のOB訪問も実施。学業と部活動、就職活動のすべてをバランスよく続けるのは大変ですが、納得いく将来の選択をするために頑張っています。

西南学院大学のここがいい！

キレイで設備が整っている図書館は、勉強に集中するにはもってこいの場所。部活やアルバイトがない日は授業終わりに立ち寄り、特に試験期間中は集中して勉強するために頻繁に利用しています。

西南学院大生、熱中の日々

今、私は、

学業に加え、スポーツやボランティアなど、
様々な活動に熱心に打ち込む、学生の日常に密着。
輝く姿の裏側にある努力と苦悩、そして熱い思いを、今ここに。

MY ANSWER

社会や時事問題に関する素朴な疑問に、2人の教授が答えます。それぞれの専門領域から導き出された「マイアンサー」とは？きっとあなたの知の扉を開いてくれるはずです。

国際文化学部 × 人間科学部

Q 「ファッション」には、どのような意味がありますか？



人間科学部心理学科 柳澤教授のMY ANSWER

ファッションは、「自分を生かすツール」です。好きな服を着ることで前向きな気持ちになり、活動の幅が広がって知識やスキルを伸ばす機会の増加に期待できるでしょう。

ファッションが自分に自信を持つきっかけに。

心理学では、人の行動を捉えるアプローチの一つとして、「時間、空間を超えてみられる行動、人間の発達の初期からみられる行動は、人や社会システムにとって普遍的に効用のある行動ではないか」と考えます。このアプローチからファッションを捉えると、イスラエルやアルジェリアの遺跡から約10万年前の貝殻のビーズが発見されており、人間が人類への進化初期の頃からファッションに親しんでいたこと、また、身を飾る装身具は世界のどの文化でも楽しまれていること、幼児であってもファッションのこだわりが見られることから、ファッションは人類にとって普遍的な行為であり、人や社会システムに必要な行為、役立つ行為であると考えることができます。

では、ファッションは個人にとってどのような効用があるのでしょうか。素敵な服やアクセサリーなどを身に着けて鏡を見ると、「気分が高揚する」「自信が湧く」などポジティブな心理状態になるでしょう。さらに、他者から自分のファッションを褒められた場合はよりポジティブな心理状態になり得ます。

そう考えると、自信が欲しい時、内面から変えようとするよりも、思い切ってファッションを変えてみることも一つの手です。自分に自信を持つことができれば、他者と関係を持つことや新しいことへの挑戦も積極的になれます。すると、人的ネットワークが広がり、知識やスキルを伸ばす機会が増える可能性があります。このように、ファッションを楽しむことは、メンタルヘルスの向上や知識・スキルを伸ばす機会増など、自分を生かすことを可能にするツールになるといえるのです。

大学4年間は自分の成長のために使える時間がたくさんあります。しかし、何の目標もないまま過ごせば、得られるものはわずかです。「やりたいことはあるけど、踏み出せない…」という人は、前向きになるきっかけとして、好きなファッションに身を包んでみるのも良いのではないでしょうか。

社会の規範を意識しつつ、おしゃれを楽しもう。

ファッションは、自分を生かすツールとなりますが、ファッションを楽しむ上で気を付けなければならないこともあります。それは、社会規範を意識することです。社会では、その場にふさわしいファッションを求められることが多く、その場にそぐわないファッションをすることで自分にとって不利な結果をもたらすこともあります。例えば、日本で就職採用面接の時にTシャツや短パンを着て行けば、いくら有能な学生であっても、「常識のない人」とみなされ、選考に落ちてしまうといったことです。TPOをわきまえることは、マナーのある社会人としての心得です。

一方で、学生の皆さんには、服装の自由度が高い学生時代にこそ様々なファッションを取り入れ、冒険してみてほしいと思います。「この格好は気分が上がる」「この服装だとリラックスできる」など、様々なファッションを試して、セルフコントロールの術を知ることは人生を自分らしく生きることにもつながります。ぜひ社会の規範を意識しながら、おしゃれを楽しんでみてください。



人間科学部心理学科
やなぎさわ
柳澤 さおり 教授
九州大学大学院
人間環境学研究科学部博士課程修了。
研究分野は社会心理学。

国際文化学部国際文化学科 大原関准教授のMY ANSWER

ファッションは、個性や思想を表現するものであると同時に、所属する集団を映す鏡であり、社会や時代の価値観を知る糸口にもなります。



個性を表現したいけど、浮きたくないのはなぜ？

「ファッションとは、何ですか？」。何人かの学生に質問すると、「自分を表現するためのもの」という答えが返ってきました。次に、「どのようにしてファッションの情報を得ていますか？」と聞くと、大抵の学生が「Instagram」と答えます。ファッションへの意識や感度は人によって異なりますが、今はSNSを通じて流行のファッションを知り、友人や家族などの周囲の目を意識しながら自分の好きな服を選ぶという学生が多いのではないでしょうか。

しかし、ファッションを〝自己表現の手段〟と考えながらも、「周りの目」を気にしてしまうのはなぜでしょう。それは、例えば、職業によって着る服の慣習やルールがあるように、「何を着るか」ということが所属する集団によってしばしば規定されてきたからであるといえます。

人は自分の意志で行動する主体であると同時に、社会の構造からも大きな影響を受けます。ファッションもまた、個人の内面の表現であると同時に、自分の友人関係や所属する集団、職場を映す鏡なのです。

また、ファッションはその時代や社会における文化や価値観を体現するものでもあります。私の専門であるアメリカ女性史においても、服と時代の結び付きはいくつも見られます。1800年代、中上流階級の女性はコルセットで腰を締め、「女性らしい」身体の曲線美を強調しました。1900年代初頭は、未婚女性の労働市場への参入という社会の動きからシャツブラウスを着て働く女性が増加。1920年代には短いスカートで動きやすい服装の「フラッパー」が流行しますが、まだまだ男性を意識したものでした。しかし、1960年代にウーマンリブ（女性解放）運動が起こると、女性たちは男性に媚びる服からの解放を模索するようになります。ジーンズなどのカジュアル・アイテムが普及し始めたのもこの頃です。そして、1980年代に女性の社会進出が進むと、肩パッドの入った「パワースーツ」を着て、男性の部下に指示を出す女性上司がオフィスに現れました。このようにファッションは、時代ごとの男女関係や「女性らしさ」に対する考え方とともに変化してきました。

つまり、ファッションは、服を着る人の個性や思想を表現するだけでなく、その人が生きる社会や時代について知る糸口にもなります。

今着ている服から学びの世界が広がる。

私たち日本人が着る服もアメリカのファッションに少なからず影響を受けてきました。大正時代のいわゆる「モガ」をはじめ、戦後の「GIパンツ＝ジーパン」、60年代のアイビー・ファッション、70年代はマウンテンパーカーなどのアウトドアファッション、90年代にはヴィンテージ・アメリカ服が日本で流行しました。これらの流行が、当時の日本人のアメリカの文化や政治への強い関心によるものであったかというと、果たしてそれはどうでしょう。単に外面的なものに憧れただけなのか。ブームを起こす日本的な特徴があったのか。当時の人にぜひ聞いてみたいものです。

では、令和の今、ジーンズやパーカーなどのカジュアル・アイテムを着る学生はアメリカを意識しているのでしょうか。ゼミ生による学生アンケートでは、75％が「意識していない」と答え、昔に比べてファッションにおけるアメリカの影響力は低下しているようです。その理由は、アメリカ文化の影響力が低下したからなのか。SNSによって世界の文化が身近になり、日本人の価値観が多様化したからか。あなたはどのように考えますか？また、私たちが着る服は社会の問題を知る手がかりにもなります。「このシャツはどこで作られたのか」と考えてみると、大量廃棄問題や海外縫製工場の労働問題などが見えてきます。学生の皆さんには、一つひとつのモノに対する「解像度」を高め、様々な視点から語れる力を身に付けてほしいと思います。



国際文化学部国際文化学科
おおはらぜき かずひろ
大原関 一浩 准教授
ニューヨーク州立大学大学院
歴史学部博士課程修了。
研究分野はアメリカ社会史。

業界研究・企業情報が知りたい！

◆ 大学求人票

企業・団体から大学に寄せられた求人票を公開中。SAINSポータル⇒就職関連⇒企業・求人情報照会にて確認ください。

◆ 業界・仕事研究セミナー

各業界を代表する企業・団体によるセミナーです。毎年10月～12月にかけて連日開催されます。

◆ 春季集中企業セミナー・学内採用セミナー
※3年次春以降対象

企業による採用セミナーです。本学への採用意欲の高い企業をお呼びして、3月以降随時開催されます。



ES添削・面接練習がしたい！



◆ 就職課員との面談

ES添削のみ利用可。

◆ キャリアアドバイザーとの面談

ES添削・模擬面接が利用可。

◆ 対策講座の受講

Moodle⇒就職課コースにオンデマンド講座掲載。3年次以降は実践型の対策講座も実施しています。

1年生から4年生まで！
就活・進路の相談は就職課におまかせ！

卒業後の進路や就職活動で
気になることはありませんか？
就職課では、万全のサポートで
皆さんの相談にお応えします。
3、4年生はもちろん、
就活前の1、2年生も大歓迎！
ぜひお気軽にご相談ください。

場所 2号館3階

筆記試験（SPI）対策がしたい！

◆ 筆記試験対策ポータル

模擬試験や動画教材を提供しています。Moodle⇒就職課コースにリンク掲載。

◆ 対策本の貸出

就職課にて対策本を貸出しています（1週間2冊以内まで貸出可）。



進路・就職の相談をしたい！

◆ 就職課員との面談

就職課員が皆さん目線で相談に乗ります。直接就職課窓口へお越しください（予約不要）。オンライン希望の場合はSAINSポータル⇒就職関連⇒学内行事・説明会より予約ください。

◆ キャリアアドバイザーとの面談

国家資格を持つプロによる面談です。SAINSポータル⇒就職関連⇒アドバイザー面談予約より予約ください。

OB・OGや先輩の情報が欲しい！

◆ OB・OG訪問

卒業生の連絡先を紹介しています。Moodle⇒就職課コースより申込ください。

◆ 就職のしおり

先輩の就活体験談を掲載している資料です。直近分はMoodle⇒就職課コースに、過去の資料は就職課に設置しています。

◆ スチューデントアドバイザー面談

就活を終了した先輩との面談ができます。詳細はSAINSポータルにて適宜お知らせします。



就職に関する情報が知りたい！

就職課公式LINE
友達登録ください！
西南学院大学 就職課
@sw-syusyoku

学生支援部 就職課（2号館3階）
開室：8:45～17:20
TEL：092-823-3321
E-mail：syusyoku@seinan-gu.ac.jp



その他

◆ 自己分析

Moodle⇒就職課コースに参考資料投稿中。まずは、自分の強み・弱み、将来やりたいことを考えてみましょう。迷ったらいつでも就職課へ！

◆ Moodle就職課コース

各種対策講座や過去セミナー動画を掲載中。一度はご確認ください。

◆ 各種イベント・セミナー

対策講座やセミナー等、多くのイベントを開催しています。SAINSポータルお知らせをお見逃しなく。

◆ 公務員対策講座

学内で受講可能な公務員対策講座を提携業者（生協・麻生キャリアサポート）にて提供しています。マスコミ・エアライン等の対策講座もあります。

※新型コロナウイルス感染状況により、内容が変更になる場合があります。

「就職活動は具体的に何を、どう進めればいいの？」という声にお応えする「就活サプリ」。
就活に向けて今、必要な情報をギュッと凝縮し、皆さんをサポートします。

今、必要な情報をぎゅっと凝縮！
就活サプリ

気になる就活のアレコレ！
内定者が本音で答えます！

「就活って何から始めたら良いの？」「内定をもらえた人はどんな就活をしたの？」。
そんな就活に関する質問・疑問に内定を獲得した4年生がお答えします。
自身の経験をもとにしたアドバイスは、3年生はもちろん、1、2年生も必見です！

質問

1. 就活が本格的に始まる前にやっておいて良かったことは？
2. 就活が本格的に始まる前にやっておけば良かったと後悔したことは？
3. 就活で挫折しそうになった時、どうやって乗り越えた？
4. 後輩へのメッセージやアドバイス



経済学部経済学科4年
いなもと あんな
稲元 安那さん
（桃山学院高等学校出身）

内定先 SBS東芝ロジスティクス株式会社

稲元さんの回答

1. マイナビや就職課などが発信する就活関連動画を視聴したことで、就活でやるべきことを早めに把握できました。2年次に参加したインターンシップも業界を絞るのに役立ちました。
2. 文章を書くのが苦手でES対策を後回しにしたことです。未完成でも早めに就職課員やキャリアアドバイザーに見てもらっておけばアドバイスがもらえ、就活初期から論理的なESを作成できたと思います。
3. 民間企業志望の友人が少なかったため、些細なことも相談できず不安でした。思い切ってキャリアアドバイザーやハローワークに相談したところ、様々なアドバイスをもらえ、就活を乗り越えることができました。
4. 自分に自信を持つことが大切です。私は分厚くなった就活ノートを見て、「これだけ頑張ったのだから大丈夫！」と自分を鼓舞していました。自分のペースを崩さず、地道に進めていきましょう。

有田さんの回答

1. 3年次の秋から自己分析を始めたことで、自分の強みと弱みをしっかり把握でき、ESに反映することができました。自分の進みたい方向も定めることができ、業界や職種をスムーズに選べました。
2. もっと広い視点で業界研究をしておけば良かったです。早い段階で業界を絞りすぎていたため、後から「この企業、いいな」と思ってもエントリーが間に合わなかったこともありました。
3. 面接で良い結果が出なかった時はつらかったです。友人に相談し、ダメなところをズバッと指摘してもらえたことで面接がうまくいくようになりました。一人だったら、乗り越えられなかったと思います。
4. 企業のネームバリューや規模も大切ですが、それ以上に自分の将来のキャリアビジョンを実現できる環境が整っている企業を選ぶことが大切です。内定＝ゴールではなく、その先の将来を考えよう！



人間科学部社会福祉学科4年
ありた ふたば
有田 双葉さん
（大分豊府高等学校出身）

内定先 チューリッヒ保険会社



人間科学部心理学科4年
ひきち まりえ
引地 茉莉江さん
（福岡高等学校出身）

内定先 積水ハウス株式会社

引地さんの回答

1. 3年次の夏、多くの会社説明会に参加。説明会で誰がどのような発言をしたかを自分の感想と合わせてエクセルでまとめていました。企業の特徴や差が明確になり、面接の受け答えにも役立ちました。
2. SPI以外の「玉手箱」などの適性検査対策やOB・OG訪問の時期が遅かったことです。どちらも早期に始めていれば、志望先の選定や選考対策にかけられる時間が増え、余裕が生まれたと思います。
3. 書類選考になかなか通過しなかった時です。家族やOBの方、キャリアアドバイザーにアドバイスをもらえたことで乗り切りました。ESは完璧に書けていなくても、誰かに見てもらうことが大切です！
4. 就活に「正解」はありません。インターネットや本に書かれていることは参考例でしかなく、絶対ではありません。未来の自分に感謝されるような「今」を過ごしたら、必ず良い結果につながります！



商学部経営学科4年
たなか こうすけ
田中 孝介さん
（福岡舞鶴高等学校出身）

内定先 日本年金機構

田中さんの回答

1. 選考があるインターンシップに応募すると、どのようなESが書類選考を通過するのかというコツをつかむことができ、本番で役立ちました。2年生は1dayインターンシップに参加するのもおすすめです。
2. 「研究」について話せる内容をまとめていなかったことです。卒業論文のテーマや進捗状況を質問する企業もあり、課外活動やアルバイトだけでなく、学業面の自己PRを考えておくべきでした。
3. 第一志望の企業が採用見送りになった時です。しかし、仕事の内容や働き方など就活の軸を複数用意し、それぞれに第一志望の企業を考えていたので上手く切り替えられました。
4. 就活は「きついな」と感じることも多々あると思いますが、周りの学生も同じです。そこを踏ん張れるかどうかが最終結果の差になります。友人や就職課など周囲に頼りながら、頑張ってください！



法学部法律学科4年
まつうら ねね
松浦 寧々さん
（済々黌高等学校出身）

内定先 裁判所一般職
（鹿児島地方裁判所）

松浦さんの回答

1. 自分がどんなことに興味があるのか、どんな職種に就きたいかをぼんやりとでも考えておくことです。また、アルバイトを通して社会人との接し方を身に付けていたおかげで、面接でも臆することなく会話できました。
2. インターネットの情報に惑わされ、公務員試験の勉強をうまく進められなかったことです。志望する職種や自分の得意苦手に合わせて計画を立てていれば、もっと効率良く勉強を進められたと思います。
3. コロナ禍で説明会が中止になり、公務員試験の情報収集が難しかったため、就職課の紹介サービスなどを使ってOB・OG訪問を行いました。OB・OGの方には、その後も親身に相談に乗っていただき、心強い存在でした。
4. 就活は学生時代の4年間の集約です。1、2年生の間に興味のあること、好きなことに挑戦して、「これが私の強みです」と言えるものを見つけてください。それが就活や将来に生きるはずです。



SEiNAN 教育支援プログラム

Before⇒After 一歩前へ。

西南学院大学の教育支援プログラムを通じて、
新しい自分を見つけた学生の物語をbefore・afterで紹介します。

プログラム名

「インターナショナル・サービス・ラーニング（ISL）」

法学部国際関係法学科 4年 房村（ふさむら） 佑希与（ゆきよ）さん（新宮高等学校出身）

“We are not different” 一人の人間として尊重することの大切さを実感。

障がいや個性について理解が深まるうちに、「手伝う」から「共に」へと意識が変化。

法学部の教育支援プログラム「ISL」に入学前から魅力を感じており、2年次に参加しました。ISLでは自分の興味関心に沿ってインターンやボランティア先を選択することができますが、障がいのある友人がいるなど、私にとって身近なテーマであったため「タイでの障がい者自立支援」を選び、夏季休暇中の3週間タイに赴きました。

現地では、自立支援施設や特別支援学校で障がい者自立支援に関するボランティアを行いました。自立支援施設では、障がいがある方と一緒に水耕栽培や飼育作業を行ったのですが、外見だけではどのような障がいがあるのか分からない方もおり、また、コミュニケーションの難しさもあって、最初はどこまで手を差し伸べるべきか、自分が手伝うことでその人の可能性を奪っているのではないかと悩みました。しかし、一人ひとりの障がいや個性への理解に努めると、私自身の意識と姿勢が「手伝う」から「共に」へと徐々に変化。障がい者ということにとらわれず、彼ら彼女らの思いをくみ取りながら各人に合った活動ができるようになっていきました。

支援施設で見聞きした“We are not different”という言葉が今でも印象に残っています。障がい者、健常者、男性、女性のようにカテゴライズするのではなく、「一人ひとりの人間」として尊重する。ISLを通じて、その言葉の意味と大切さを実感することができました。

研修を通じて意識が変化。何事にも積極的に挑戦！

ISLに参加したことで、何事にも臆することなく挑戦しようと思うようになりました。ISLで培われたチャレンジ精神と積極性は帰国後の学生生活でも発揮され、法学部の根岸先生が行っている国際法教育プロジェクト「KARDIANOIA（カルディアノイア）」にも参加しました。大変そうだなと迷いもありましたが、ISLの充実感が大きかったこともあり、思い切って挑戦することに。入管・難民問題について学ぶことで、社会的弱者の存在を知り、その人たちの声に耳を傾ける必要性を認識し、法を学ぶ者として学問への姿勢を見つめ直す貴重な経験になりました。

私は、学生生活でやりたいことはやりきったと胸を張って言えます。それは、興味を持ったことの全てに挑戦したからです。皆さんも少しでも気になることがあれば、ぜひ、熱が冷めないうちに一歩を踏み出すことをおすすめします。きっと自分だけの学びが見つかり、卒業時の大きな達成感につながるはずです。

「インターナショナル・サービス・ラーニング（ISL）」とは

現場の経験を法的学びに生かし、多方面に貢献できる人材育成を目指す。



インターナショナル・サービス・ラーニング（ISL）とは、国際的な（International）インターンなどの社会活動（Service）と大学での専門教育を相互に関連付けることで、国内外の諸問題に関するより深い学びを得る（Learning）ことを意味します。社会活動に従事するための事前準備として、日本と国際社会の関わり、国際協力の基本的な考えを学ぶと同時に異文化への理解を深めます。夏季休暇中には国内外でインターンやボランティアに参加し、社会活動後は、その成果を英語でプレゼンテーションする報告会を行います。



※2022年度は新型コロナウイルスの感染状況により実施を中止する場合があります。

教育支援プログラムの流れ

1. 教職員が学生の「学びのフィールド」を広げるプロジェクトを構築します。
2. 各プロジェクトにおいて参加者募集が行われ、学生は自主的に申し込みをします。
3. 各プロジェクトにおいて、取組みが実施されます。研究旅行／勉強会／海外インターンシップ・ボランティア／イベント運営 など
4. 各プロジェクト実施後は、レポート作成や成果報告会等が行われます。
5. 各プロジェクトに参加することにより、学生は多様な能力を身に付け成長します。

« University for Foreigners of Siena »

留学先協定校
シエナ外国人大学
［イタリア］
留学期間：2019年10月～2020年3月



1917年、外国人にイタリア語やイタリア文化を教育することを目的に設立された国立大学。イタリア政府が認定するイタリア語検定試験（CILS）やイタリア語教育能力検定試験（DITALS）を運営する大学でもある。

イタリアの華やかな文化に感動。将来は日本とイタリアの架け橋に！

Here!

イタリア語三昧の毎日！上達するにつれて楽しさも倍増。



1年次の「文化のダイナミズム」という授業で、イタリアで脈々と受け継がれる歴史や文化を学び、その豊かさと華やかさに感銘を受けたことでイタリア語を学び始めました。それから程なくして、後の派遣留学先となるシエナ外国人大学へ1カ月の短期留学に出発。しかし、予想していた以上に思うようにイタリア語が話せず、とにかく悔しい思いをしました。そこで、悔しさを晴らすべく3年次に派遣留学に申し込み、同大学に再挑戦することにしました。

現地ではイタリア語学習に専念。文法とコミュニケーションの授業を受講し、毎日4～5時間イタリア語漬けの日々を送りました。そのかいあって、半年後にはイタリア語が一定レベルまで上達。イタリア語で行われる文化講座が受講可能となり、念願だったイタリア音楽史を受講しました。ずっと憧れだったオペラやクラシック音楽など、イタリア独自の音楽の歴史や文化について学ぶことで、語学学習も含め勉強することがどんどん楽しくなっていきました。

共同生活で痛感した気持ちを伝えることの大切さ。

現地で特に苦労したことは、ルームメイトとの共同生活です。中国人とイタリア人と一緒に暮らしましたが、最初の頃はトイレの使い方やモノの片付け方など、文化や習慣の違いからぶつかり合うことも多く、不満と葛藤に苦しみました。しかし、自分の意見を伝え、相手への理解に努めることで些細な問題は解決。気持ちを明確に示し、伝えることの大切さを学びました。

また、幼少期から続けている剣道にイタリアでも挑戦！留学当初は時間にも気持ちにも余裕がありませんでしたが、現地の生活にも慣れてきた頃に西南学院大学に留学に来ていたイタリア人の友人を頼って現地の道場に通い始めました。国籍や言葉の違いを超えて剣道を通じて仲間が増え、彼ら彼女らと共に熱くなれた日々はかけがえのない思い出です。イタリア人のオープンな性格と、底抜けの明るさに何度も助けられた派遣留学。将来は、大好きなイタリアと日本を繋ぐ仕事をすることが目標です！





Question Q1 どのようにイタリア語を勉強しましたか？

私の場合、友人と会話をしたり、映画を観たりと行動の中で語学を学ぶ方が性に合っていました。会話のネタのためにネットニュースをイタリア語で随時チェックするなどの工夫も。派遣留学前はイタリア語4級レベルでしたが、帰国後は準2級を問題なく取得し、現在は2級、1級合格に向けて勉強中です！

Question Q2 留学先の大学はどんな雰囲気でしたか？

約2000人の学生が在籍。イタリアをはじめ世界各国から学生が集まり、多様な国籍や背景を持つ学生が学んでいます。年齢層も幅広く、私は大学で10代から80代までの学生と出会いました。多種多様な人々との交流を通して様々な価値観に触れることができました。



Question Q3 現地での印象的なエピソードはありますか？

バスに乗車した際、チケットの有効期限の印字の手違いで多額の罰金を払ったことです。本来、経緯を説明すれば済むことでしたが、パニックになってしまい、結局その場を収めるために150円のチケット代の何倍もの罰金を支払うことに…。後日、友人にそのことを話したら代わりにバス会社に掛け合ってくれ、見事全額返金されました。自信を持ってはっきり主張することの大切さを実感した経験でした。

私の留学～STORY～

世界がキャンパス

国際文化学部国際文化学科 4年 緒方（おがた） 貴士（たかし）さん（熊本県立第一高等学校出身）



知の原点

教授が日々研究している専門分野との出会いは何か。研究の原点を探り、教授の学生時代の思い出とともに研究への思いを紹介します。

vol.12

商学部商学科

高山（たかやま） 浩二（こうじ）准教授

和歌山大学経済学部市場環境学科卒業。大阪市立大学大学院経営学研究科後期博士課程修了。研究分野は金融・証券。現在は、主にアメリカの金融やフィンテックについて研究。

アメリカの金融を通して、世界の動きと資本主義の本質を探る。

研究の原点

バブル崩壊や金融政策で揺れ動く日本経済への興味がきっかけに。

現在の研究

現在、アメリカの金融について制度的、歴史的な視点から研究しています。どのような仕組みでアメリカの金融が成り立っているか、どのような歴史から制度が作られたか。アメリカという国を金融の面から探ると、私たちの知らないアメリカの姿が見えてきます。

例えば、アメリカといえば〝自由な国〟というイメージがありますが、アメリカの金融システムは非常に特殊で、日本以上に規制が強い部分があります。銀行口座を開設するには、ある程度の金額を預金しなければならず、低所得者は預金や送金といった銀行のサービスを受けることができません。ほとんどの人が銀行口座を持ち、日常的に銀行のサービスを利用している日本では考えられないことです。

しかし、こうした金融格差を解消する画期的な技術として2000年代に登場したのが、「フィンテック（FinTech）」です。フィンテックとは、「金融（Financial）」と「テクノロジー（Technology）」を組み合わせた造語で、ITを利用した新しい金融サービスをいいます。QRコード決済やスマートフォンを使った送金、ビットコインなどの仮想通貨、AIを活用した証券取引などがそれにあたり、新たな金融の形として瞬く間に全世界に普及しました。特に、金融とは無縁だった貧困層や発展途上国はフィンテックによって金融サービスが受けられるようになり、生活が大きく変わったといわれています。例えば、南米からアメリカに出稼ぎして稼いだお金を自国へ送金する際、従来は高い手数料を銀行に払う必要がありました。しかし、今は現金を仮想通貨に変えれば安価で海外に送金できるようになり、フィンテックがもたらすメリットや活用シーンは私たちの想像以上に多様です。

また、フィンテックの普及とともに、IT技術を生かして金融分野に参入するフィンテック企業が多数誕生しています。こうした新たな動向を踏まえ、フィンテック企業による銀行免許取得の動きや既存の金融機関によるデジタル化についての研究も進めています。

これまで金融について研究してきた中で感じることは、金融の世界は日々進化しており、私たち研究者がいくら追いかけても現実に追いつかないということです。新しい技術や理論が様々な課題や矛盾を解決していこうとする金融のダイナミックな動きを研究するにつれ、資本主義経済とマネーの力が分かります。「お金を儲けたい」という人間の欲望が資本主義を動かし、様々なことを進化させているのだと実感します。

同時に、外国を研究することで、誰もが金融サービスを受けられる日本の良さを再認識する反面、アメリカのように革新的な技術やサービスが生み出せない日本の変化への弱さを痛感します。

学生の皆さんが社会人として生きる時間は、これまで生きてきた時間よりも長くなります。その間、社会が変わる、企業のあり方が変わるかもしれません。そうした時に役立つのは、論理的に考える、文章を書く、他人に伝える力です。基本的なことですが、社会に出て成長する土台となる力であり、どのような分野に進んでも通用するはずです。学生の皆さんには、ぜひ、この力を大学4年間で身に付けて、変化する社会で活躍する人になってほしいと願っています。

私が、現在の研究分野である「金融」に興味を持ったのは高校生の頃です。当時はバブル崩壊後の1997年。絶対に倒産しないと思われていた証券会社や銀行など大手金融機関が相次いで破綻しました。終身雇用や年功序列といった雇用制度も徐々に崩れ、大企業ではリストラが広がるなど社会全体の価値観が180度変わった時代でした。私自身も「金融機関が潰れると、こんなに社会が混乱するのはなぜだろう」と疑問を持ったことを覚えています。こうした日本経済の急激な変化を目の当たりにしたことがきっかけで、金融について学べる経済系の学部への進学を決めました。

大学に入ると、日本経済は大掛かりな金融制度改革のまっただ中。金融機関への税金の投入、ゼロ金利政策など金融に関する話題に事欠きませんでした。そんな時代背景の影響もあり、金融についてより深く研究しようと大学院へ。当初は研究者になろうと思ってもいませんでしたが、世界の金融の中心であるアメリカの金融を研究する中、日々進化する金融は常に私の興味関心を刺激し、今なお研究を続けています。



大学院生時代に仲間と議論し、今でも読み返す思い出の一冊

interview with OB・OG

こんにちは先輩 #181

筑前琵琶奏者
筑前琵琶 嶺青流 師範／嘉（よし）の会 主宰

尾方（おがた） 蝶嘉（ちょうか）さん

本名は尾方淳子さん。2000年法学部法律学科卒業。福岡舞鶴高等学校出身。13歳の時、筑前琵琶に出会い、嶺青流 流祖の故・嶺旭蝶師、故・青山旭子師に弟子入り。大学卒業後、会社員として働きながら筑前琵琶の腕を磨き、27歳の時に演奏者の道へ。数少ないプロ奏者として琵琶界を牽引。2021年9月に琵琶楽コンクールで優勝し、文部科学大臣賞受賞。

筑前琵琶の演奏を通して人の心に潤いや喜びを届ける。それが私の喜びとなる。

STORY

日本で数少ないプロの筑前琵琶奏者として活躍する尾方蝶嘉さん。

筑前琵琶は明治時代に確立された福岡発祥の楽器・音楽です。

昭和初期までは若い女性の代表的な習い事として親しまれていましたが、現在では福岡でもその存在を知らない人が多いといわれています。

そうした中、舞台演奏や弟子の育成、

近年では人気ゲームソフト「ゴースト・オブ・ツシマ壹岐之譚」のゲーム音楽演奏や海外アーティストとの作品共同制作など新たな試みを通じて、

筑前琵琶の魅力発信に取り組んでいます。

そんな尾方さんにプロの道に進むことを決めた学生時代や創作活動の醍醐味、伝統芸能を継承する思いを伺いました。





様々な経験を重ねた学生時代の中で見つけた筑前琵琶奏者の道。

筑前琵琶との出会いは13歳の時。学校の文化祭で筑前琵琶を弾く友人の演奏に感動したことがきっかけです。繊細かつ力強い琵琶の音色と迫力ある歌声に惹かれ、筑前琵琶を習い始めました。大学入学後も、琵琶の稽古や舞台演奏を続けていましたが、それ以外はどこにでもいる普通の学生でした。将来やりたいことも見つかっていなかったので、授業やアルバイトなどを通して広く浅く様々な知識を身に付け、興味関心の赴くままに色々経験することを楽しんでいました。

そんな中、就職活動が始まるという時、自分の気持ちを見つめてみると、私の一番やりたいことが「琵琶」だったのです。師匠に連れ立って様々な舞台経験を積む中で自分の奏でる音、歌い語る声によって世界を創り出すこと、それを観て聴いて喜んでくれる人がいることが私にとって何よりも楽しいことでした。

しかし、いきなりプロになれる程甘い世界ではありません。卒業後は法学部の知識を生かせる職場で働きながら、修行と演奏活動を続けるという年月を過ごしました。大学の学びを社会で直接生かした経験はこの数年でしたが、法律を通して世の中を捉える基礎力を培うことができたと思っています。

当たり前の日常の中で感じた心の機微が演奏や作品創作の深みに。

27歳の時、「筑前琵琶奏者」として歩むことを決めました。この決断は家族の理解がなければできなかったと同時に、筑前琵琶を通して自分がどこまで成長できるのかを試してみたい、人と感動を共有できる仕事で生きていきたいという気持ちが原動力となりました。

しかし、「文化」「芸術」というのは、一朝一夕で結果の出る類いのものではありません。絶えず修練を積み重ねなければならず、忍耐力が必要です。さらに、出産や育児も加わり、より一層大変さが増したようにも感じます。そうした中でも筑前琵琶の魅力を多くの人に伝えたいという思いから、「蜘蛛の糸」や「雪女」など若い世代にもなじみのある題材を基にした新しい作品創作に取り組んでいます。また、人形浄瑠璃とコラボレーションした舞台創作にも励んでいます。生みの苦しみはありますが、一つの作品を創り上げる過程は他では味わえない気付きや面白さがあり、舞台で演奏する瞬間だけでなく、作品作りに向き合う時間も濃く、豊かな時間です。



筑前琵琶奏者として歩み始めて17年。当たり前の日常を積み重ねる中で増えていく心の引き出しが作品に深みを与え、琵琶を通して自分の成長を確かめているように思います。ただ、筑前琵琶の発祥地である福岡でもこの楽器を知らない人は多く、演奏する機会を作りだしていくことは簡単ではありません。ましてや環境や技術が目まぐるしく変化する時代に、伝統芸能が生き残っていくことは本当に至難の業です。このような現代社会においても人の心に届く演奏を目指すことが、日本に伝来して1300年という歴史のある琵琶を残し人の心をつないでゆくことにつながるのだと信じています。

海外が身近になった今、学生の皆さんには、自分の生まれた国や地域のこと、そこに息づく文化芸術などを自身の経験を基に語れる人になってほしいです。自分の芯になる大切なものがあれば、相手の国の文化も尊重することができます。ぜひあなたが知らない日本の文化に積極的に触れてみましょう。日本は面白い国ですよ！そして、福岡で生まれた筑前琵琶にも興味を持ってもらえたらうれしいです。



私の座右の銘

正直、素直

「音楽」という感性の世界に身を置く人間として、物事に対して素直であること、自分の心に正直であることを大切にしています。人との関わりにおいても、信頼される生き方の基本はここにあると思っています。

教授のヨノナカ考

社会で起こっているさまざまな事象を先生方が独自の視点で語ります。

外国語学部外国語学科
石田（いしだ） 由希（ゆき） 准教授
福岡女子大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（英文学）。専門分野は演劇学、映画学。

もうひとつのテアトロン

英語の「シアター（演劇）」は、ギリシャ語の「テアトロン（見る場所）」に由来します。観客が同じ場所に集い、舞台上の役者に目を凝らす。これが演劇の基本形でした。ただコロナ禍において、この観劇法では三密を避けることが困難です。そのため、世界中の劇場が、オンラインでの配信に活路を見出しました。ネットを介した演劇は、二十世紀末から散見されますが、それが急速に普及したのは、二〇二〇年以降です。観客はネット上でチケットを購入し、公演の録画や中継を鑑賞します。あるいは、ロンドンの大手劇場が、過去の公演映像を無料公開し、ロックダウン中の市民に芸術を提供したこともありました。無論、画面越しの観劇には長短があります。例えば、生身の役者を肉眼で見ることは叶いません。他方、バリアフリー、国際性、字幕の充実、低価格、交通費や移動時間が不要といった利点もあります。パンデミック以降、多くの劇場の扉が閉ざされていますが、オンライン演劇の普及は、観劇のためのもうひとつの扉を、より多くの人々に開いたと思われます。



ロンドンの劇場「グローブ座」のHPより、オンライン演劇版『ロミオとジュリエット』の告知画像

NEWS

【SIFA・SGS主催】西南学院大学国際交流50周年記念イベントを開催しました

2021年12月18日（土）、SIFA（Seinan International Friendship Association）※1とSGS（SEINAN Global Society）※2が、本学の国際交流事業開始50周年を記念したイベントを西南コミュニティーセンターとオンラインで同時開催しました。

本学は、1971年に国際交流事業を開始し、今年50周年を迎えました。現在、国際交流協定校数は33カ国102大学まで拡大し、これまでの海外への派遣学生は1573人、海外からの受入れ学生は1699人を数えます。イベント当日は、国際交流事業50周年を記念したシンポジウムと、在学生・高校生向けの本学の留学制度についての説明会を行い、会場とオンライン合わせて63名が参加しました。



シンポジウムは、SIFA代表・外国語学部 宮原哲教授をファシリテーターに2部構成で行われました。1部では「米仏2カ国、8大学から30カ国、100大学へ」と題し、派遣留学を経験し、現在、国際的に活躍する卒業生と本学に留学経験のある元留学生の6名をオンラインでつなぎ、西南での留学経験やその経験を生かした現在の姿、留学から得た学びなどをそれぞれが報告しました。



続いて2部では、これまでの50年の歴史を振り返りつつ、派遣留学を経験し、様々な分野で活躍する卒業生、学外関係者の5名が「西南学院大学国際交流の“果実”と“課題”」というテーマに基づき、それぞれの立場、視点から報告。本学の国際交流事業が果たしてきた意義と役割、そして今後の大学に期待することなどが語られました。

今回のイベントは、これまでの本学の国際交流事業がどのように個人に影響を与え、社会に還元してきたかを振り返り、これからの本学の国際交流のあるべき姿について考える大変貴重な機会となりました。本学は、今後も国際交流をさらに活性化させ、国内外で活躍する人材の育成に寄与していきます。

※1：SIFA（Seinan International Friendship Association）とは、西南学院大学から派遣留学や語学研修などの留学プログラムに参加した方や、西南学院大学に留学した海外の学生、その他、西南学院大学の国際交流等に関わる方々のコミュニティです。

※2：SGS（SEINAN Global Society）とは、国際交流イベントを企画・運営する本学国際センターの公認学生団体です。2018年11月より活動を開始し、日本人学生と留学生の相互交流を促進し、キャンパスの国際化を推進するために活動しています。

NEWS

外国語学部・森喬士さんが「FLS-Insight」による国内留学を開始します

外国語学部2年・森喬士さんが、2022年4月より、「FLS-Insight」による東京外国語大学への1年間の国内留学を開始します。森さんは、本制度を活用して国内留学する“初”の学生です。

FLS-Insightとは、外国語学部が実施する“外国語学の学びをさらに深化させる学術的な国内留学システム”のことで、3年次以上の外国語学部学生を対象（応募要件、選考あり）とする半期または1年間の東京外国語大学への国内留学制度です。学生は自分の興味に応じた科目を受講可能で、所定の単位を修得した場合は本学を4年間で卒業することができます。

森さんは、「将来、英語圏文学を学ぶために海外留学したいと考えており、その分野の科目が充実している東京外国語大学で学べるFLS-Insightに魅力を感じ、挑戦することにした。4月からの1年間という短い期間ではあるが、興味のある科目を深く学び、また、東京外国語大という全国各地から学生が集まるキャンパスで、周りの学生と積極的に交流し切磋琢磨したい」と目標を述べました。



「国内留学後は本学の派遣留学制度にもチャレンジしたい」と語る森さん。FLS-Insightで学びを深め、将来は世界に羽ばたいていくことが期待されます。

NEWS

読書教養講座を開催しました

柚月 裕子さんが講演

2021年12月3日（金）、作家の柚月裕子さんを講師に迎え、「ミステリー小説流儀と作法」というテーマで読書教養講座を開催しました。今回の開催は、新型コロナウイルス感染防止のため定員を制限し、会場となった西南学院百年館（松緑館）には、約50人の教職員や学生、一般の聴講者が参加しました。

柚月裕子さんは、2008年『臨床真理』で第7回「このミステリーがすごい！」大賞を受賞し、作家デビュー。2013年に『検事の本懐』（文藝春秋）で第15回大藪春彦賞、2016年に『孤狼の血』で第69回日本推理作家協会賞を受賞。また、2018年『盤上の向日葵』で「本屋大賞」2位。その他、代表作として、映画化され大ヒットした『孤狼の血』続編の『凶犬の眼』『暴虎の牙』などを出版し、活躍されています。

柚月さんは講演の中で、「小説を書く時は、舞台とする土地に自分が立って、その時に感じた感覚を大切にしている。その時に感じた匂いや音、空気などは私自身の中にしか存在しない。私の感覚を丁寧に書くことで、きっと読者にも伝わると信じている」と小説を書く上で大切にしていることを語りました。



また、講演後には、学生とのトークセッションが行われ、参加者は熱心に聴き入っていました。

INFORMATION

2022年度の授業実施方針について

西南学院大学は、2022年度の授業について、対面授業を基本として実施いたします。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部の科目については遠隔授業（オンライン授業）になる場合があります。

新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗や新たな治療薬の開発・普及等により、今後の感染拡大の抑制が期待される一方で、変異株（オミクロン株）の感染力や重症化の程度等、先行きは依然として不透明な状況であり、引き続き警戒が必要です。今後の感染状況によっては、対面授業を基本とする授業実施方針を変更せざるを得ない可能性もあります。その場合は、本学ホームページ等にて速やかにお知らせいたします。

本学では、学生の皆さんがキャンパスでの学びを通して、充実した学生生活を送ることができるよう努めますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

INFORMATION

2022年度前期 公開講座「西南コミュニティーカレッジ」のご案内

全11講座開講!

西南学院大学の知的財産等を広く社会に還元するために開講している公開講座「西南コミュニティーカレッジ」。今期は、学部等提供講座をはじめとする全11講座を開講します。

学生に受講してほしい講座

深掘りユネスコ世界遺産

提供 国際文化学部

■ 開講形式：対面※
■ 講　　師：新谷 秀明（国際文化学部教授） 他国際文化学部教員4名
■ 開催期間：6月6日（月）～7月4日（月） 18:30～20:00

本学の学生、専任・常勤教職員は**無料**。ただし、定員に制限があります。

＜各回内容＞

第１回　6月6日（月）
「ジャイアントパンダのふるさと―四川省・臥龍自然保護区」新谷 秀明

第２回　6月13日（月）
「ジェンネーサハラ砂漠越えの交易で栄えた千年の都市国家」伊東 未来

第３回　6月20日（月）
「アウシュヴィッツを訪ねて考えたこと」中島 和男

第４回　6月27日（月）
「アユタヤーシャムと日本をつないだコスモポリタン都市」片山 隆裕

第５回　7月4日（月）
「歴史都市ローマの深掘り―考古学発掘調査の苦労と意義」山田 順

フィンランド美術史への招待

提供 大学博物館

■ 開講形式：対面※
■ 講　　師：下園 知弥（西南学院大学博物館教員／助教・学芸員）
■ 開催期間：7月1日（金）～7月29日（金） 18:30～20:00

本学の学生、専任・常勤教職員は**無料**。ただし、定員に制限があります。

＜各回内容＞

第１回　7月1日（金）
「フィンランド・ナショナリズムと黄金時代」

第２回　7月8日（金）
「カレワラの画家 アクセリ・ガッレン＝カッレラ」

第３回　7月15日（金）
「天使と悪魔の画家 ヒューゴ・シンベリ」

第４回　7月22日（金）
「伝統と前衛の狭間に生きた画家 イナ・コリアンダー」

第５回　7月29日（金）
「美術史の中のフィンランド・デザイン」



※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開講方式を変更、もしくは開講しない場合もあります。

詳しくは

各講座についての詳細及びお申し込み方法については、ホームページでご確認ください。

西南学院大学 生涯学習　検索

お問い合わせ

社会連携課
TEL：092-823-3612
（平日9時～17時）
E-mail:sw-ext@seinan-gu.ac.jp

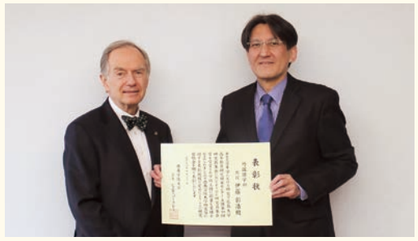
NEWS

伊藤彰浩教授（外国語学部）が「RIHE研究員集会賞」を受賞

外国語学部の伊藤彰浩教授が「RIHE研究員集会賞」を受賞しました。

この賞は、広島大学高等教育研究開発センターが主催する第49回高等教育研究員集会（2021年11月26日（金）開催）で公募された「私の主張：高等教育のあるべき姿」における研究発表「将来あるべき大学像を実現するエネルギー」が採択され、高く評価されたことを示すものです。発表の内容は、一般社団法人キリスト教学校教育同盟の「2021年度キリスト教学校教育振興助成」により実施された「キリスト教系学校法人の寄付行為の分析：キリスト教性とガバナンス」の成果を踏まえたものでした。この栄誉をたたえ、優れた研究活動成果であるとしてG.W.バークレー学長より1月31日（月）に表彰が行われました。

伊藤教授は「外国語学部設置及び大学院の改革に携わる中で、西南学院の歴史について学び、高等教育論に関する多数の文献に目を通し研究をする中で発表原稿が完成した。ご指導とご支援をくださったすべての方々に心よりお礼を申し上げます」と語りました。



NEWS

松原知生教授（国際文化学部）が第5回「フォスコ・マライーニ賞」を受賞

国際文化学部の松原知生教授が、著書『転生するイコン-ルネサンス末期シエナ絵画と政治・宗教抗争』（名古屋大学出版会、2021年）により、第5回「フォスコ・マライーニ賞」（イタリア文化会館主催）を受賞しました。

日伊文化交流に大きく寄与したイタリアの日本学者フォスコ・マライーニの名を冠する同賞は、1978年に創設されたマルコ・ポーロ賞を継承し、日本国内で出版されたイタリアに関する優れた著作に与えられるものです。今回選考対象となったのは、2019年7月から2021年6月までの間に刊行された41点で、最終候補として選ばれた6点の中から、選考委員5名全員が一致して松原教授の著作を支持し、受賞が決定しました。

昨年12月8日（水）、東京のイタリア文化会館にて授賞式が執り行われ、アルベルト・マナイ館長代理より賞が授与されました。また、本学においてもこの功績をたたえ、優れた研究活動成果であるとしてG.W.バークレー学長より1月31日（月）に表彰が行われました。

松原教授は「偉大な日本学者マライーニに捧げられた栄誉ある賞を賜り、望外の喜びです。本書の完成には長い年月を要しましたが、研究を支えてくださった多くの方々のおかげで、ようやく日の目を見ることができました。これからも研究や教育を通じてイタリア美術の魅力を伝えることで、微力ながら日伊文化交流に貢献していきたいと思います」とコメントしました。



NEWS

課外活動団体が全国大会に出場！

2021年度に右記の団体が全国大会に出場しました（2022年2月1日現在）。

今後とも、本学課外活動団体へのご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。



体　育　会

- **弓道部**（第69回全日本学生弓道選手権大会）
- **剣道部**（第69回全日本学生剣道優勝大会）
- **ハンドボール部〈女子〉**（高松宮記念杯57回全日本学生ハンドボール選手権大会）
- **空手道部**（第65回全日本大学空手道選手権大会）
- **競技ダンス部〈別當・平井ペア〉**（第66回全日本学生競技ダンス選手権）
- **アメリカンフットボール部**（全日本大学アメリカンフットボール選手権大会）

応援指導部

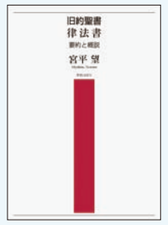
- **応援指導部チアリーダー**（JAPAN CUP 2021日本選手権大会）



INFORMATION

本学教授の新著

すべての根源を
探究したい人向け!



『旧約聖書 律法書
要約と概説』

みやひら のぞむ
宮平 望/著

国際文化学部国際文化学科教授

● 2021年 新教出版社 本体2,000円＋税 260頁

新しい旧約入門!旧約聖書の諸文書を章ごとに、ヘブライ語原典に基づいて要約し、新約聖書の視点からメッセージを解読する。創見に満ちた解釈を随所に盛り込み、聖書の学びが楽しくなる。旧約聖書の複雑多様な世界を読み進めるための好個の手引き書。「律法書」は、創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記の5書を扱う。(新教出版社HPの広告文より)

OB・OGの新著

世界で唯一の
「弓道」写真集出版



『弓道』

いけだ ともゆき
池田 友行/著

1968年 経済学部経済学科卒業

● 2021年 櫂歌書房 本体3,500円(税込) 116頁

42歳から、父の指導で弓道を始めた。弓道は28m先の的に矢を中てる日本古来の武道である。矢を的に中てるだけでなく、身体と心と弓が渾然一体になって的に矢を放つことが大事である。道場で心静かに弓を引くとき心が洗われる。弓道は生涯スポーツでもある。何歳からでも始められるし一人で行える武道である。30年間、射手と同じ気持ちになって撮影して来た。福岡県の範士、教士、審査、大会を中心に弓に関わる神事も掲載した。唯一弓道だけに特化した写真集である。

INFORMATION

教員の新任・退職情報

お世話になりました 2022年3月31日付退職教員

〈専任教員〉

片山　寛　／神学部神学科 教授
渦原　実男　／商学部商学科 教授
本間　正義　／経済学部国際経済学科 教授
小山　雅亀　／法学部法律学科 教授
村山　淳子　／法学部法律学科 教授
倉見　智亮　／法学部法律学科 教授

〈外国語教員〉

萱嶋　崇　／言語教育センター 助教
栗山　雅央　／言語教育センター 助教
ロバートプレスラー　／言語教育センター 助教

はじめまして 2022年4月1日付就任予定者

〈専任教員〉

黄　南徳　／神学部神学科 教授
戸田　順一郎　／商学部商学科 教授
松田　温郎　／商学部商学科 教授
志田　仁完　／経済学部国際経済学科 准教授
佐藤　友幸　／法学部法律学科 講師

〈外国語教員〉

S.アポテカー　／言語教育センター 助教
ハルス ロバート　／言語教育センター 助教
金　兌妍　／言語教育センター 助教
T.ブリッチャード　／言語教育センター 助教

〈常勤教員〉

新原　俊樹　／助教
森田　淳子　／助教

INFORMATION

九州六大学野球春季リーグ戦・西福戦(春季応援合戦)開催のお知らせ

日時 5月10日(火)
第3試合 15:00～

場所 宮若市東部総合運動公園「光陵グリーンパーク」
試合 西南学院大学 対 福岡大学

※チケットの詳細はSAINSポータルで別途お知らせします。
※新型コロナウイルス感染症の状況によって、無観客での実施や中止になる場合があります。



INFORMATION

学生生活の手引き(CAMPUS GUIDE)をご活用ください!

学生生活の手引き(CAMPUS GUIDE)とは?

大学生活において、授業や施設の利用方法、課外活動のことなど分からないことがあったときに、どのように解決すればよいか、どこに相談すればよいか等がまとめられたデジタルパンフレットです。1年生に限らず上級生もブックマークに登録してぜひ活用ください。

学生生活の手引きへの
アクセス(デジタルパンフレット)は
こちらから

アクセス方法 大学HP ▶ 在学生・保護者の方 ▶ 学生生活の手引き



INFORMATION

大学生活の新しいスタイルを応援する「TSUNAGARUコミュニティ」発足 ～あなたも参加してみませんか?～

新型コロナウイルスの感染拡大により、大学の講義はオンラインが主流となり、対面の授業数や学生間の交流も減ってしまいました。学内への出入りが制限されることもあり、想像していた大学生活を送れていないと感じる学生の皆さんも多いのではないでしょうか。この状況を受け、西南生のための新たな学修支援コミュニティが発足しました。その名も「TSUNAGARUコミュニティ」です。学生の単位習得と学生間の新たな“繋がり”を作ることを目標に、現在は企画運営を行う学生(通称メンター)39名、教務課職員、参加学生(メンバー)約100名で活動しています。グループチャットアプリ「Slack」を活用したメンバーの学修相談や、メンターによるコラムの連載。また、ビデオ会議システム「Webex」を利用したオンライン勉強会「もくもく会」の実施など、その活動内容は多岐に渡ります。コロナウイルス収束の状況によっては対面での活動を積極的に行うことも視野に入れています。「単位が取れるか心配」「一人では勉強のやる気が起きない」「もっと大学で知り合いが欲しい」。そんな悩みを持った方々はぜひご参加ください!

TSUNAGARU
コミュニティ

TSUNAGARUコミュニティの
Slackへの入会はこちらから

TSUNAGARUコミュニティの
Instagramはこちらから

TSUNAGARU_SEINAN



決断
My Turning Point

ターニングポイント！

人生は選択の連続。社会で活躍する先輩たちの「決断」から学ぶ、働くことへのヒント

第11回

秋山貴紀（あきやまたかのり）さん

西日本電信電話株式会社（NTT西日本）
財務法務部 法務部門

事業運営を裏方から支え、社員に頼られる法のスペシャリストに。

profile

2017年 法学部法律学科卒業
福岡中央高等学校出身。大学在学中は男子ラクロス部に所属する傍ら、体育会総務委員長を務め、体育会の運営と発展に尽力。卒業後、入社2年目までは東海支店で現場経験等を積み、3年目から法務部門へ異動。法律に関する社内相談窓口として日々業務にあたる。

法務とは企業のアクセルとブレーキを担う仕事

私が所属する法務部門は、組織の意思決定を法的観点から支援することが仕事です。具体的には、社内の様々な部署や顧問弁護士と連携し、社内の法律相談や契約審査、訴訟、社内研修といった企業活動における法律に関する幅広い業務を行っています。法務スタッフは弁護士とは異なり、企業の一部であることから、アクセル（＝法律を武器とした企業活動の後押し）とブレーキ（＝法的トラブルを避けるリスクヘッジ）を操りながら、会社の円滑な事業運営に貢献します。

最初の配属では、コールセンターでの電話対応や企画などの業務を経験しました。しかし、学生時代に法学部で学んだ「物事を道筋立てて考える」といった法律的な考え方が好きだったこと、専門性が高いスキルを磨きたかったこと、裏方で支える仕事が性格的に合っていることから弊社の法務という仕事に興味を持ち始めました。そこで、入社1年目から法律関係の勉強をコツコツと続け、企業法務系の資格を取得。そして、その後に訪れた大きな転機が、入社3年目の異動のタイミングです。



キャリア選択で葛藤。先輩の助言で意思を固める

弊社では法務など専門性の高い部門は、早期からスペシャリストとして育成していくため、法務部門への異動は基本的に3年目となっており、以降、法務を中心としたキャリアを形成していきます。そのため、この早い段階でキャリアを決めていいのか心底悩みました。そんな時、学生時代からお世話になっている採用人事担当の先輩や法務の先輩に相談。客観的にアドバイスをもらい、自分の価値観に合っている仕事であること、そして、その仕事に対する強い思いを改めて確認し、意志が固まりました。

その後は、毎日の勉強はもちろん、人事面談対策など様々な取り組みを行い、晴れて法務部門に配属されることに。今年で5年目を迎えますが、契約や訴訟など、会社が意思決定をするための法的判断を担う役割のため、日々緊張感を持って業務に取り組んでいます。経験が物を言う場面も多く、異動当初は戸惑うこともたくさんありました。しかし、法務の社員の多くが自身の仕事に誇りを持ち、高いレベルで仕事をしている姿に日々刺激を受けながら仕事ができているおかげもあり、今では少しずつですが、指名で仕事を頼まれるまでに成長することができました。

私が仕事で大切にしているのは、綿密なコミュニケーションです。法務に相談しやすい環境であることは、企業の適切なリスクマネジメントとビジネスチャンスの拡大につながると考え、「相手の立場に立ち、相手を理解すること」を強く意識しています。いつかは、NTTグループの持株会社である日本電信電話株式会社（NTT）の法務部門にも挑戦し、日進月歩の社会で通用するより専門性の高いスキルを磨いていきたいと思います。





決断までのSTEP

STEP1
就活ではインフラ企業を目指す
法律的な考え方が好きなため、法律関係の仕事に興味はあったものの、インフラ企業を中心に就職活動し、現在の会社に入社。

STEP2
入社後2年は現場経験を積む
最初の配属先では、コールセンターの電話対応や企画業務にあたる。このときから法務部門への異動を意識し、業務に必要な企業法務系の資格取得に向け休日返上で勉強。

My Turning Point
決断

葛藤の末、法務への挑戦を決意
法務への興味はあるものの、3年目という早い段階でキャリアを決めて良いのか悩む日々。そんなとき、信頼する先輩たちからの助言により意志を固める。

STEP4
将来のために日々勉強
3年目に法務部門へ異動。法務3年目の現在も、毎日法律関係の勉強を欠かさない。将来、行政書士、司法書士の資格を取得し、業務に生かすことが目標。



後悔のない未来にするためには、今のたゆまぬ努力が必要

将来を切り開くのは常に自分自身。選択で後悔しないためには自分で決断を下すことが大切です。来るべき選択に備えて、今は苦しくとも、将来を見据えた努力を惜しまないでほしいと思います。その結果として選択した未来は、きっと素晴らしいものになるはずです。